

事業名	目的・目標	対象者	方法	令和2年度		令和3年度計画(案)	
				計画	実績		
特定保健指導推進	特定保健指導対象者に対し、健康診査結果を渡す機会や教室等を利用して保健指導を行い、健康的な生活に自ら取り組むよう支援し、メタボリックシンドロームの減少を図る。 目標 特定保健指導受診率向上及特定保健指導対象者の減少。	特定保健指導対象者	【健診結果相談会】 健診結果に案内を同封し周知。各公民館等で予約制による個別相談を実施。  令和元年度の結果返送会に変えて、訪問等の個別保健指導を強化。	健診当日に保健指導該当者への面談を実施することで、保健指導利用に繋がった。  特定保健指導対象者には、個別訪問・電話等で指導を実施。  管理栄養士の訪問・個別面談を増やし、生活改善に向けた取組を強化。積極的支援の指導については、民間委託により周知方法や内容を見直して特定保健指導を実施。	【健診結果相談会】 ・特定健診受診者を対象に各地区で保健センター保健師が実施 【特定保健指導】 ・積極的支援及び動機付け支援を国保保健師及び保健センター保健師が担当。 ・積極的支援については、業者委託で実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため保健指導の実施の有無について検討していた時期もあり、業者委託は中止した。  【保健指導】 ・動機付け支援 利用率 70.8% 終了率 64.0% ・積極的支援 利用率 62.0% 終了率 29.1%  R3.6.30現在	9月までに実施した健診の特定保健指導対象者に対し、民間の業者委託により、積極的支援、動機付け支援を実施。申込みのなかった者については、委託により再勧奨を行う。10月以降の健診実施者に対しては、保健師及び管理栄養士が保健指導を実施。	
			【ヘルスメイク教室】 動機づけ、積極的支援対象者に個別通知により募集。	保健センターが事業を主体的に実施。 保健師、管理栄養士、健康運動指導士による指導を実施。し、フォロー体制の強化を図る。	【実施内容】 1回目 栄養指導 2回目 運動指導 3回目 栄養指導 4回目 採血  【参加者数】 13人		保健師、管理栄養士、健康運動指導士による指導を実施する。
			【個別運動指導】 運動施設(病院併設)への運動指導を委託。初回面接は、保健センターの保健師等が実施。	対象を拡大し、特定保健指導対象者全ての方に個別通知を行い広く参加を促す。 訪問、電話等で個別勧奨。	【委託先】健康増進施設K-FIT  【参加者】 2人		特定保健指導対象者全ての方に個別通知を行い広く参加を促す。 訪問、電話等で個別勧奨実施。
糖尿病予防教室	糖尿病を理解し、生活習慣の見直しを図る	74歳以下かつHbA1c6.0%以上の未治療者。	【教室参加への勧奨】 特定健診結果通知に同封 広報掲載予定。	スマートライフ教室に組み込んで対象を広げて実施。 糖尿病予防教室は参加者が減少傾向にあり、利用者が少ないため廃止し、他の教室と組み合わせで事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い未実施。	生活習慣病教室において、血糖値に焦点を当てた講座を実施。	
受診勧奨域の保健指導	生活習慣病重症化を予防する	以下の基準のいずれかを満たし、特定健診時に医療機関に受療していない者。 ・収縮期血圧160mmHgまたは張期血圧100mmHg以上 ・HbA1c7.0以上 ・男性のLDLコレステロール180mg/dl以上 ・尿たんぱく(2+)以上	保健師等による個別保健指導を実施。	研修等により従事者の質を確保しながら保健師に加え管理栄養士等による栄養指導を実施。	重症度に応じて訪問及び通知による受療勧奨を実施した。  ●高血圧 該当者 79人 介入者 79人 受療者 38人 受療率 48.1%  ●高血糖 該当者 24人 介入者 24人 受療者 18人 受療率 75.0%  ●LDL 該当者 37人 介入者 37人 受療者 17人 受療率 45.9%  ●尿たんぱく 該当者 9人 介入者 9人 受療者 8人 受療率 88.9%	健診結果送付後、時間をあけずに介入することで、健診結果への意識が高い時期に指導し、受療率の向上を目指す。	
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受療中断者を医療に結び付けるとともに、糖尿病性腎臓病で通院患者のうちリスクの高い者に対して、2市1町が医療機関と連携して保健指導を行うことにより、糖尿病性腎臓病の増悪を防ぎ、人工透析への移行を防止する。	糖尿病で受診している者、または受療を中断している者。	●取手市、守谷市、利根町と取手市医師会により、糖尿病性腎臓病重症化予防協議会を設置し、外部委託機関に依頼して実施。	対象者抽出:特定健診結果、レセプトデータから抽出。 対象者:取手市医師会会員の参加医療機関通院患者で対象の病気ステージの者10名。 保健指導は8月～1月まで実施。 受療勧奨及び再勧奨:勧奨後受療歴が無い場合、市の保健師が電話や訪問を実施。  過年度において実施した者に対し、保健師及び管理栄養士がフォローアップを行う。	【協力医療機関】 43医療機関 【勧奨通知数】 68人 【参加者数】 2人 ※コロナ禍における対策として、タブレットにより面談実施。  【検査値等の改善】 HbA1c 40%  【フォローアップの実施】 軽中度 13人(面談2回、電話6回) 中高度 1人(面談2回、電話10回)	対象者抽出:特定健診、レセプトデータから抽出。 対象者:取手市医師会会員の参加医療機関通院患者で対象の病気ステージの者10名を上限に実施する。 保健指導は9月から2月まで実施する。 受療勧奨:過去に糖尿病で治療していたが、受療中断している者に受療勧奨通知を送付する。	